

生活単元学習指導案 (略案)

平成26年11月14日 金曜日 2校時
 高等部 Bグループ 男子5人 女子1人 計6人
 場所 高等部 1年 教室
 指導者 ○○○○(CT) ○○○○(ST)

1 単元 「後期現場実習に行こう」

2 本時の実際 (15/16)

(1) 全体目標

現場実習 (以下、実習) での成果や課題を基に、次の実習に向けたこれからの生活における目標を立てたり、具体的に取り組みたいことを決めることができる。

(2) 評価規準

育てたい力	評価規準	観点
自分づくり	① 自分の成果や課題を基に、次の実習に向けたこれからの生活における目標を立てる。	【知識・理解】 【思考・判断・表現】
関係づくり	② 設定した目標を達成するために、具体的に頑張りたいことについて自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりする。	【関心・意欲・態度】 【技能】
生活づくり	③ 自分の課題を基に立てた目標から、これからの学校や家庭生活における具体的な取組を決める。	【思考・判断・表現】 【技能】

(3) 個人目標

生徒	個人目標
A. Y (1年, 男)	教師や友達と一緒に実習の成果や課題を確認し、目標やこれから取り組みたいことを絵や写真などと対応しながら教師と一緒に考え、決めることができる。
K. S (1年, 男)	実習の成果や課題から、次の実習に向けた今後の生活における目標を立て、学校や家庭で取り組みたいことを具体的に決めることができる。
F. M (1年, 男)	実習の成果や課題、努力をお互いに認め合い、次の実習に向けた今後の生活における目標をがんばり表を基に立て、学校や家庭生活に関連した具体的な取組を決めることができる。
M. S (1年, 女)	実習の成果や課題を教師や友達と一緒に確認しながら今後の目標を立て、目標に関連する絵や写真を手掛かりに具体的な取組を決めることができる。
Y. T (2年, 男)	自分の実習の成果や課題から、次の実習に向けた今後の生活における目標や具体的な取組を教師や友達の意見を参考にして決めることができる。
Y. Y (2年, 男)	教師と一緒に実習の成果や課題を確認し、学校や家庭での過ごし方などに関連付けて今後の目標や具体的な取組を教師と一緒に決めることができる。

(4) 指導及び支援に当たって

学習活動の概要と授業環境の工夫

生徒たちは、前時までの学習において、実習中の様子を写真やVTRで振り返ったり、実習報告会を行ったり、日誌における評価を基にがんばり表を作成し、お互いの成果や課題を課題マップに記録したり発表したりすることで、実習先での成果や課題を知ることができた。また、次に行ってみたい実習先を、自分や友達が行ったことのある実習先から選んで課題マップに記録することで、次の実習への意欲も高まっている。しかし、その成果や課題を今後の実習や生活にどのように生かせばよいのか考えることが難しい。そこで、本時では、成果や課題を基に次の実習やこれからの生活における目標を立てたり【自分づくり】、目標を達成するための具体的な取組を決めたりする活動を設定した【生活づくり】。具体的には、成果と課題を基に立てた目標から、絵や写真を手掛かりにしたり、意見を出し合ったり【関係づくり】しながら学校や家庭生活に関連付けて具体的に取り組みたいことを決めることができるようにしたい。その際に、半円状に座席を配置することで、生徒同士で教え合ったり、学び合ったりすることができるようにする。

教材・教具とのかかわりについて

課題マップをホワイトボードに掲示することで、成果や課題、次の実習先、これからの目標や頑張ることを生徒がお互いに確認できるようにする。

友達・教師とのかかわりについて

設定した目標から具体的に頑張ることを友達や教師と一緒に考えることで、友達の意見を聞いたり、お互いの目標や頑張ることについて認め合ったり、励まし合ったりできるようにする。

自分とのかかわりについて

自分の成果と課題から、次の実習や今後の生活における目標を立て、具体的に頑張ることを友達の意見を参考にしたり、学校や家庭生活に関連付けて考えたりして決定できるようにする。

(5) 実際

過程	主な学習活動	指導及び支援上の留意点	資料・準備
導入 (5分)	1 始めの挨拶をする。 2 学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">次の実習やこれからの生活で頑張ることを発表しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none">姿勢を正し、大きな声で挨拶することで、学習の始まりを意識できるようにする。前時までに作成したがんばり表や課題マップを掲示することで、これまでの学習を確認したり、本時の学習への意欲を高めたりすることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none">掲示用がんばり表掲示用課題マップめあてカード
展開 (40分)	3 がんばり表や課題マップで実習の成果や課題を確認し、次の実習やこれからの生活の目標を立てる。 (1) がんばり表や課題マップを見ながら、全員で実習の成果や課題を確認する。 (2) 個別のがんばり表や個別の課題マップを基に、次の実習やこれからの生活における目標を立てる。 (3) 立てた目標を課題マップに記録し、発表する。 4 自分や友達の立てた目標に対して学校や家庭で具体的に取り組みたいことを決める。 (1) 目標達成に近づくために学校や家庭で取り組みたいことを、関連する絵や写真、教科カードから選ぶなど全員で自由に意見を出し合う。 (2) 出された意見や頑張ることに関連する絵や写真を基に、個人がこれからの生活で頑張ることを個別の課題マップに記録する。 (3) (1), (2)を繰り返す。 (4) ホワイトボードの課題マップにこれから取り組みたいことを記録し、発表する。	<ul style="list-style-type: none">個別のがんばり表と課題マップを照らし合わせながら実習の成果や課題を全員で確認し合うことで、実習での頑張りを認め合いながら学習を進めることができるようにする。がんばり表の観点に関する絵や写真を使用することで、成果と課題をイメージしやすいようにする。生徒が発表順を確認しながら主体的に発表できるように、発表者の順番をホワイトボードに顔写真カードで示すようにする。K. Sには発表用ホワイトボードを準備し、気付いたことを記入して友達に伝えることができるようにする。A. Y, M. S, Y. Yは目標に関する絵や写真、教科カードから取り組みたいことを選んで発表の手掛かりにすることができるようにする。F. MやY. Tには目標から考えられる具体的な取組を、教師が肯定的に助言しながら一緒に確認できるようにする。これから取り組みたいことを課題マップに記録して発表することで、お互いに認め合ったり、励まし合ったりして、次の実習への意欲を高めることができるようにする。	<ul style="list-style-type: none">掲示用がんばり表個別のがんばり表実習日誌掲示用課題マップ個別の課題マップがんばり表の評価の観点に関する絵や写真頑張ることに関連する絵や写真カード教科カードホワイトボード顔写真カード発表用ホワイトボード
終末 (5分)	5 本時の振り返りをする。 6 終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none">作成した課題マップ等を基に本時の学習を振り返ることで、本時のめあてに対する成果等を確認できるようにする。	

(6) 評価

実習での成果や課題を基に、次の実習に向けたこれからの生活における目標を立てたり、具体的に取り組みたいことを決めたりすることができたか。